

## 第20回医療的ケア研修セミナーのお知らせ

日本小児神経学会は、社会活動・広報委員会の担当で「医療的ケア講師研修セミナー」を2004年から毎年開催し、その内容をもとに「医療的ケア研修テキスト」を発行してきました。本会は、2009年度より「医療的ケア研修セミナー」と改称され、より多くの方を対象としたセミナーとなっております。第20回は新型コロナウイルス感染状況に鑑み、Web開催といたします。

- 期 日** 2022年11月3日(木・祝) 9:30~17:20  
**会 場** Web配信 オンデマンド配信 2022年11月8日~2023年1月31日  
**対 象** 重症神経疾患児・重症心身障害児(者)等の、医療・療育・教育・通園通所・訪問看護などに携わる、医師・歯科医師・看護師・保健師・理学・作業療法士・言語聴覚士・教員・保育士など  
**目 的** 家庭・学校・通園通所施設などにおいて、在宅地域生活支援のために「医療的ケア」が拡がりを持ちながら適切に行われるよう、専門職が知っておくべき方法・技術、リスクおよび制度論などの諸問題について研修し、支援者が知識を共有できることを目的とする。  
**参加費** 医師7,000円、医師以外の医療従事者・支援者等1,000円、医療系学生無料(事前お振込み)  
**主 催** 一般社団法人日本小児神経学会  
**共 催** 日本重症心身障害学会、一般社団法人日本小児看護学会  
**後 援** 一般社団法人岩手県医師会、岩手県看護協会、岩手県重症心身障害児(者)を守る会、岩手医科大学医師会、岩手県小児科医会、日本小児神経学会東北地方会、岩手医科大学小児科学講座同門会 (順不動)

**申込受付** 終了しました

### 専門医研修単位

小児神経専門医研修単位5単位

日本医師会生涯教育講座カリキュラムコード自己申告対象セミナー

### プログラム

9:30~9:40 開会の挨拶 亀井 淳(岩手医科大学医学部障がい児者医療学講座)

9:40~12:10

#### 【シンポジウム】東北地方における医療的ケア児支援

- ・療育センターが担う医療的ケア児者の支援 豊野美幸(秋田県立医療療育センター小児科)
- ・医療的ケア児・者支援 山形県での取り組み 中村和幸(山形大学小児科)
- ・青森県における医療的ケア児支援 多職種コンサルテーションチーム活動 網塚貴介(青森県立中央病院 成育科)
- ・地域で取り組む 医療的ケア児の災害対策 笠井 健(北良株式会社)
- ・医療的ケア児支援法の施行から考える相談支援 遠山裕湖(一般社団法人宮城・仙台障害者相談支援従事者協会/宮城県医療的ケア児等相談支援センター)
- ・ディスカッション

12:40~13:30

#### 【教育講演】小児外科医から

- ・小児外科医が関わる医療的ケア 鈴木 信(岩手医科大学医学部外科学講座)

13:35~16:15

#### 【パネルディスカッション】家族・きょうだいの思いに寄り添うケア

- ・「今まで・これからの息子二人(きょうだい)の自立への子育て」<息子は息子・私は私、関わった全ての人に支えられて> 藤村ゆみ子(岩手県重症心身障害児(者)を守る会)

- ・きょうだいと家族の生きられた体験に心を寄せるということ 伊藤由香 (社会福祉法人新生会みちのく療育園メディカルセンター看護部)
- ・きょうだいとしての経験～絵本「みんなとおなじくできないよ」で伝えたかったこと～ 湯浅正太 (一般社団法人 Yukuri-te(ゆくりて))
- ・ディスカッション

16:20～17:15

【日本小児神経学会】社会活動委員会から

- ・全国の学校での医療的ケア実施状況と課題 三浦清邦 (愛知県医療療育総合センター中央病院小児科)
- ・小児神経学会社会活動広報委員会の歩みと今後の活動について 宮本雄策 (聖マリアンナ医科大学小児科)

17:15～17:20 閉会の挨拶 田中総一郎 (あおぞら診療所ほっこり仙台)

(講師敬称略)

第20回医療的ケア研修セミナー会長 亀井 淳  
(岩手医科大学医学部障がい児者医療学講座)  
一般社団法人日本小児神経学会社会活動・広報委員会  
担当理事 山下裕史朗  
委員長 宮本 雄策